

共同利用機器部門 液体クロマトグラフ質量分析計 利用申し合わせ
(日立 NanoFrontier eLD, 島津 LCMS-8050, AB Sciex TripleTOF 6600)

平成 28 年 5 月 24 日

共同利用機器部門の液体クロマトグラフ質量分析計の適切な利用のため、以下のルールを必ず守ってください。

1. 利用にあたって

- (1) 機器の操作は、原則として機器担当者が行います。
- (2) 利用者が自身での操作を希望する場合は、登録が必要です。登録のない方は、依頼測定のみ可能です。
- (3) 登録の有無に関わらず、共同利用機器部門内規によって定められた経費の負担(使用料)が必要です。

2. 登録

- (1) 登録にあたっては、使用したい機種ごとに、部門が指定するトレーニング・コースを受講してください。トレーニング受講にかかる費用は利用者負担です。
- (2) トレーニング受講後、受講を証明できるもの(作業報告書や修了証等)のコピーを提出してください。
- (3) 他施設で既にトレーニングを受講していたり、質量分析計の使用経験がある場合は、担当者に申し出てください。トレーニングの一部あるいは全てを省くことができます。
- (4) トレーニング受講後、使用前に、担当者から使用したい機種の学内ルールについて説明を受けてください。
- (5) 機器の不適切な使用が認められた場合、登録を停止・抹消することがあります。
- (6) 機器を使用しなくなる場合や、群馬大学を離れる場合など、登録内容に変更が生じたら、速やかに担当者に連絡してください。

3. 予約

- (1) 測定は予約制です。事前に下記情報を担当者に連絡してください。
 - ・ 氏名
 - ・ 所属・連絡先(内線/PHS)
 - ・ 使用希望機種
 - ・ 実験計画(目的、サンプル調製法、測定希望日時等)
- (2) キャンセルする場合や実験計画に変更が生じた場合は、速やかに連絡してください。
- (3) 無連絡でのキャンセルが続く場合や予約なしでの使用が認められる場合、利用をお断りすることがあります。

4. 使用時間

- (1) 原則として平日 8:30~17:15 のみ使用できます。
- (2) 時間外の使用を希望する場合は、事前に担当者に相談してください。
- (3) 休日や終夜の連続測定は可能ですが、途中でエラー等が起きないように、設定・溶媒残量・廃液等をよく確認してください。
- (4) 停電等で使用できない期間がある場合には、連絡・表示等を行います。

5. 依頼測定にあたって

- (1) 測定は、原則として平日 8:30~17:15 に行います。利用者の事情等で、それ以外の測定を希望する場合には、担当者と事前に相談してください。
- (2) 測定はできるだけ依頼順に行いますが、使用機種・サンプル数等の事情で順番は前後します。
- (3) 測定後に送付するデータ形式について、希望がある場合は担当者と相談してください。

5-1. メソッドパッケージを使用した測定 (LCMS-8050)

- (1) 島津メソッドパッケージ(脂質メディエーターあるいは一次代謝物)を使用した測定の場合、マ

- マニュアルを熟読し、記載の方法に準じたサンプル調製を行ってください。
- (2) サンプルは指定のサンプルバイアルに入れて用意してください。
 - (3) 指定の測定依頼フォーム(バッチファイル)に必要事項を記入し、担当者にメールにて送付してください。

5-2. メソッド開発が必要な測定 (全機種共通)

- (1) メソッド開発が必要な測定の場合、測定目的・対象物質・参考文献等の情報を準備し、担当者と開発方針について相談してください。
- (2) メソッド開発に必要なカラム・溶媒・標準物質等は、部門指定品あるいは推奨品に準じたものを、全て利用者が用意してください。
- (3) 作成されたメソッドは、学内の他の利用者がそのままあるいは変更して使用することがあります。メソッドの利用範囲について希望がある場合は、担当者と相談してください。

5-3. 既存のメソッドでの測定 (全機種共通)

- (1) 利用者自身で作成済み、あるいは他者から供与された既存のメソッドを用いた測定の場合、その利用範囲について明確にしてください。
- (2) 当該メソッドでの測定に必要なカラム・溶媒・標準物質等は、全て利用者が用意してください。ただし、使用するカラム・溶媒等の条件によっては、利用できない場合があります。

5-4. プロテオミクス測定 (TripleTOF 6600, NanoFrontier eLD)

- (1) 部門で用意する標準プロトコール以外でサンプル調製を行う場合、サンプル調製法(消化方法・精製方法)について、担当者と相談してください。
- (2) 標準条件以外の条件を希望する場合、必要に応じて、利用者がカラム・溶媒・標準物質等を用意してください。ただし、希望するカラム・溶媒等の条件によっては、利用できない場合があります。
- (3) 部門にあるデータベース検索エンジン用以外のデータフォーマットを希望する場合は、担当者と相談してください。

6. 登録者による測定にあたって

- (1) 説明されたとおりの正しい取り扱い・操作方法を心がけてください。機器の操作方法等に不明な点がある場合は、再度トレーニングを受講したり、担当者から説明を受けたりし、不明なまま使用を継続しないでください。
- (2) 測定に必要なカラム・溶媒・標準物質等は、部門指定品あるいは推奨品に準じたものを、全て利用者が用意してください。
- (3) 希望するカラム・溶媒等の条件によっては、利用できない場合があります。
- (4) データは指定されたフォルダに保存してください。それ以外のは、通知なしに削除します。
- (5) 使用後は必ず、使用簿に必要事項を全て記入してください。
- (6) バイアル、溶媒等は全て回収してください。放置されていた場合は、通知なしに処分します。
- (7) 部門で指定する溶媒以外の廃液は、部門の廃液タンクに入れず、各自で回収・処分してください。
- (8) 使用中にエラーが表示されたり、故障したりした場合には、速やかに使用を中止し、担当者に連絡してください。
- (9) トラブルの内容によっては、利用者にメーカーへの状況の説明やログの送信等をお願いする場合があります。その場合は、随時、担当者に状況・経過を報告してください。

7. 解析

- (1) 解析は原則として、各自で行ってください。
- (2) 部門の解析 PC・サーバーを使用して解析を行う場合は、担当者に予約してください。
- (3) 解析 PC・サーバー内のデータはバックアップをとりません。必要に応じて、利用者自身でバックアップをとってください。
- (4) 解析 PC・サーバー内のデータを削除する場合には事前に連絡しますが、不要なデータは各自で小まめに削除してください。指定したディレクトリ以外に保存されているものは、通知なしに削除します。

8. その他

- (1) 修理に費用がかかる場合、利用者に一部負担をお願いすることがあります。
- (2) 依頼測定データを使用した論文等には、Acknowledgement に部門名を入れてください。